

# SOWER

ソア=種まく人

No.53

April 2025

一般財団法人

日本聖書協会

## 特集 日本聖書協会150年のあゆみ

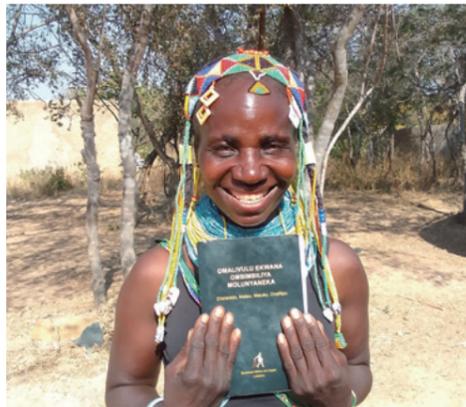




首都ルアンダ、ホジェヤヘンダ地区にあるイグレジャ・プレズビテリアナ・ヴィトリアの日曜学校の子どもたち ©Francois Sieberhagen

# アンゴラ聖書協会

アンゴラは1975年までの450年間、ポルトガルの植民地でした。クーデターによりマルクス主義の大統領が政権を握り、キリスト教の排除を誓いましたが、失敗に終わりました。1990年から2010年にかけて、福音派の信者数は4倍に増え、現在では800万人を超えています。  
しかし、国は27年にわたる内戦（1975年〜2002年）を経験し、地雷、貧困、識字率の低さといった問題に直面してきました。このような状況の中で、アンゴラ聖書協会は、精力的に聖書の翻訳、出版、頒布に取り組んできました。視覚障害者に対して点字聖書、大判印刷の聖書、オーディオ聖書などを提供しています。また、40から50の言語が存在するため、バンガラ語、クンビ語、キコンゴ語、ソング語などの翻訳を進めています。



ニャネカ語の新約聖書を初めて手にするウイラ州ムバンビ村の女性



**アンゴラ**  
 人口：3668万（2023年）  
 面積：1,247,000 km<sup>2</sup>  
 首都：ルアンダ  
 公用語：ポルトガル語  
 宗教：カトリック（41%）、プロテスタント（41%）、無宗教（12%）他アニミズム、イスラム、ユダヤ  
 通貨：クワンザ

**アンゴラ聖書協会**  
 1885年に活動を開始  
 1967年に設立  
 2020年3月に聖書協会世界連盟の正会員資格を取得

## 巻頭聖句

また、よく言っておくが、  
 どんな願い事であれ、あなたがたのうち二人が  
 地上で心を合わせるなら、天におられる私の父は  
 それをかなえてくださる。

（マタイによる福音書18章19節 聖書協会共同訳）

戦争や災害、差別や抑圧に苦しむ多くの人々を思い、私たちは祈ります。しかし、変わらない現実を目の当たりにすると、祈ることの虚しさを感じることはないでしょうか。けれども、祈りは決して無力ではありません。祈りは、最もふさわしい時に、最もふさわしい方法で用いられます。祈りには確かな力があるのです。私たちが心を合わせて祈るなら、神様は豊かに用いてくださいます。この希望を胸に、平和な世界の実現を祈り続けたいと願います。

### 山本与志春

やまもと よしはる  
 学校法人青山学院 院長

## CONTENTS

SOWER No. 53 2025

- 2 特集  
 日本聖書協会150年のあゆみ  
 年表 1875年～2025年  
 みことばを世界へ これまでに支援してきた国々  
 聖書普及事業一五〇年 日本聖書協会設立への挑戦  
 一八七五年のロバート・リリーの報告書から
- 10 人物と聖書 ③ 鈴木範久  
 奥野昌綱と聖書
- 12 エッセイ ④ 中島耕二  
 築地居留地
- 14 聖書セミナー ⑦ 小友 聡  
 「明日に向かって種を蒔こう」
- 16 第3回聖書エッセイコンテスト入選作品  
 大賞 「かばんの中の小さな聖書」こばやしきよ  
 準大賞 「聖書を持たせてあげられなかった、あの日のおじいさんへ」ゆか子  
 準大賞 「百人百色、一つの信条に」加藤礼野  
 あまり賞 「抽斗の伝道者」びわしゅ  
 流水賞 「青春の旅」まっち  
 松谷賞 「初めての教会訪問はGPSゲームと共に」朝霧翼  
 総主事賞 「コロナ禍の信仰」永江恵利
- 23 聖書普及事業150年記念式典 及び  
 レセプション
- 24 ソア53号発行によせて  
 編集後記
- 25 新・歴史接写 ④  
 石川義一と視聴覚部の働き



#### 表紙の言葉

今回の表紙は現在の桜木町駅に最初にできた横浜駅が舞台です。石造りの西洋建築でできた海に近いこの駅で、かつて聖書翻訳に邁進した人々がこんな風に集い熱い意見を交わしあっていたかもしれない。そんなコマをイメージして描きました。描いていて楽しかったです。（絵・文=佐藤百合子）

特集

# 日本聖書協会の150年の

# あゆみは、信仰と挑戦の歴史です

1991	『聖書新共同訳』新約聖書をカセットとCDで頒布	写真8
1988	『聖書新共同訳』点字聖書全巻完成 ブラジル日系移民80周年記念『日ポ対照新約聖書』1万5千冊贈呈	写真7
1987	『聖書新共同訳』完成 66巻及び旧約聖書続編付き同時発刊 9月東京日比谷・東京会館で奉献式を開催	写真6
1980	聖書図書館開設	写真5
1978	『新約聖書 共同訳』完成 翻訳方針を見直す	
1977	聖書頒布数が年間1000万冊突破 共同訳の翻訳作業を開始	
1972	『新約聖書 共同訳』完成	
1970	「受ける聖書協会からささげる聖書協会」への転換 銀座の聖書館ビル改修工事 カトリック、プロテスタント両教派による共同訳聖書実行委員会が発足 大阪万博で聖書を頒布	
1968	「受ける聖書協会からささげる聖書協会」への転換	
1965	米国及び英国聖書協会からの財政自立方針決定 日本放送（JOLF）ラジオ番組「メイコとカナナの日曜日」の スポンサーを開始	
1964	聖書頒布数が年間400万部を超える 韓国聖書協会にバイブルペーパーを贈呈	
1961	最初の海外支援 インドネシアに1万冊、翌年に10万冊を贈呈	
1956	第1回聖書訳語徳碑記念式典開催 最初の海外支援 インドネシアに1万冊、翌年に10万冊を贈呈	
1955	4月 銀座教会で完成感謝式典を開催 旧新約「口語聖書」完成	
1954	口語訳の点字聖書全巻完成	
1949	日本聖書協会が財団法人の認可を得る	
1947	13の創設メンバーのひとつとして日本も参加 聖書協会世界連盟第1回総会がオランダで開催される	
1946	米国から日本語の『旧新約聖書』と『新約聖書』計172万冊、分冊福音書67万冊が届けられ戦争で荒廃した国内に頒布される 聖書協会世界連盟が創設される	
1945	年間の聖書頒布数が23冊まで減少	
1937	米・英の支社から「日本聖書協会」となる	
1933	東京・銀座に「聖書館ビル」が竣工 12月 開館式を開催	写真4
1919	米国聖書協会、銀座に移転	
1917	大正改訳『新約聖書』が完成	写真3
1904	西の事務所を神戸に置く 東は米国聖書協会が、西はスコットランドと英国の聖書協会が担当 国内の活動を東西に二分	写真2
1894	日本初の点字聖書『ヨハネ伝』刊行	
1890	東京築地の新栄教会で日本語聖書完成祝賀会開催	
1888	北英国・大英国・米国聖書協会、共同経営を開始	
1887	邦訳による初の『旧新約全書』（元訳）が揃う	
1881	翻訳委員社中訳『新約全書』英和対照版完成	
1880	翻訳委員社中訳『新約全書』完成	
1878	米国聖書協会が神戸に分社設置	
1877	大英国聖書協会が銀座ヤマトヤに聖書売捌所設置 三聖書協会が共同で横浜倉庫開設	
1876	英国聖書協会が大英国聖書協会、米国聖書協会が米国聖書協会を設置 東京翻訳委員会が発足し、旧約聖書の翻訳が始まる	
1875	北英国聖書協会を設置 スコットランド聖書協会代表ロバート・リリーが横浜に着任 日本における聖書普及事業が、横浜でスコットランド聖書協会により始まる	写真1

写真7 奉献式



写真6 大阪万博キリスト教館で聖書を頒布



写真6 聖書図書館 (2017年に閉館)



50年代 リアカーで各地を回るコルポーター (聖書普及員)



60年代 バイブルバンで全国に聖書を届けていた



写真3 西の拠点 神戸の聖書館



写真1 横浜の聖書館 (左手前)

写真4 銀座の聖書館

写真2 文語訳点字聖書『ヨハネ伝』



写真8 聖書CD



# 150 YEARS

2025	日本聖書協会 聖書普及事業150年 『聖書 聖書協会共同訳』朗読版完成、『ウェブバイブル』で提供
2023	『聖書 聖書協会共同訳』点字聖書奉献式開催 「第1回聖書エッセイコンテスト」開催
2022	『聖書 聖書協会共同訳』講壇用聖書発刊 初めて学生インターンを受け入れる
2021	公式ウェブサイト全面リニューアル 聖書協会共同訳諮問委員会発足
2020	WEBアプリ『ウェブバイブル』提供開始 『聖書 聖書協会共同訳』点字聖書完成 コロナ禍でSNS、YouTube配信を強化
2019	『聖書 聖書協会共同訳』発行記念奉献式・講演会（銀座教会）、感謝会（銀座東武ホテル）を開催 （一財）キリスト教視覚聴覚センターと合併し、西早稲田にも拠点ができる 『聖書 聖書協会共同訳 引照・注付き』が造本装幀コンクールで日本書籍出版協会理事長賞を受賞
2018	カトリック教会とプロテスタントの2度目の共同訳、『聖書 聖書協会共同訳』が完成
2016	震災復興支援として福島県の青年へ米・テイラー大学留学の支援開始
2015	直営書店が南青山、熊本、大阪・堺、北九州、京都、聖公書店の6店舗に
2014	「第1回聖書クイズ王決定戦」開催
2012	公益法人法改正により一般財団法人に移行
2011	直営書店「バイブルハウス南青山」を開店 東日本大震災5回の被災地聖書支援で12万冊以上を寄贈
2010	聖書協会世界連盟世界理事会を東京・台場で開催
2009	日本プロテスタント宣教150周年記念大会を多教派と共催 1200の児童養護施設に聖書絵本やマンガを贈呈 新訳訳事業開始を理事・評議員会で決議
2008	『聖書 新共同訳』頒布数が1000万冊を突破 365の海外日系人教会に聖書を贈呈 第1回共同訳事業推進計画諮問会議開催
2007	東京国際ブックフェアに初出展
2006	国際聖書フォーラム2006開催
2005	「国際聖書製作計画（GSP）」海外送品冊数が100万冊を突破 次の聖書翻訳に向けて翻訳部新設
2004	手のひらサイズの音声聖書「バイブルトーク」発行
2003	「手話訳聖書」製作支援開始 聖書館ビルにマルチカラーLED看板設置
2002	日韓ワールドカップ記念「韓日対照旧新約聖書」「よろこびのおとずれ」（10言語ルカ書）発刊
2001	公式ウェブサイトからのオンライン購入や献金が可能に
2000	キリスト降誕2000年東京大聖書展を多教派・多団体共同で開催 聖書普及活動125年記念式典開催
1997	日本で製作した聖書を海外に贈る「国際聖書製作計画（GSP）」開始 インターネット上に公式ウェブサイト開設
1993	狭山に配送センターを開所
1992	機関誌『SOWER』第1号創刊



写真⑭ 『聖書 聖書協会共同訳』点字聖書奉献式



写真⑮ 『聖書 聖書協会共同訳』発行記念感謝会



写真⑯ 「クリスチャンプレス」トップページ



写真⑰ 『ウェブバイブル』



写真⑱ 『聖書 新共同訳』頒布1千万冊突破



写真⑩ 神戸バイブル・ハウス開館



写真⑲ 東日本大震災支援



写真⑪ バイブルトーク

2004年 携帯電話  
iばいぶるを開設



写真⑧ LED看板

# みことばを世界へ

📍 これまでに支援してきた国々



**2013：リトアニア**  
リトアニアの子どもたちに絵本聖書を贈呈しました



**2022：ウクライナ**  
戦争で苦しむウクライナの人々に聖書を届けるため、翌年も合わせ720万円献金しました（継続中）



**1994：旧ソ連東欧諸国**  
ソ連崩壊と東欧変革に際し聖書が求められ、頒布のため9,082万円の募金を送りました



**2017：モンゴル**  
モンゴル人による初の原典からの聖書翻訳を経済的に支援しました



**1964：韓国**  
パイプーパーと呼ばれる聖書印刷用の紙を日本で抄造して送っていました



**1988：中国**  
中国に初の聖書印刷所を建てるために募金キャンペーンをし、1億円送金しました



**1969：台湾**  
自給第1年の年に台湾聖書協会に聖書普及のための献金500ドルを送りました



**2001：コロンビア**  
2008年までに31万8,000冊のスペイン語聖書の束を日本で製作し送りました。製本はコロンビアで行われました



**1999：フィリピン**  
2007年までの9年間で15万冊のタガログ語と英語の聖書を製作し送りました



**2010：チリ**  
音声聖書パイプトークを地震災害支援として贈呈しました



**2018：キューバ**  
開国し始めたキューバの100万冊聖書プロジェクトに参加し300万円を献金しました



**2019：ボリビア**  
アイマラ族の子どもたちへの聖書教育プログラム支援のために100万円献金しました



**1988：ブラジル**  
ブラジル移民80周年を機に日本語・ポルトガル語対照新約聖書を1万冊贈呈しました



**2009：コンゴ民主共和国**  
舗装されていない奥地での聖書頒布のため、トヨタのバイブルバンを贈呈しました



**2003：エジプト**  
2008年までの6年間で39万2,000冊のアラビア語聖書を日本で製作し送りました



**1961：インドネシア**  
1961年に1万冊、1962年に5万冊、1963年に5万冊インドネシア語聖書を贈りました

# 特集 聖書普及事業一五〇年

## 日本聖書協会設立への挑戦

### 一八七五年のロバート・リリーの報告書から

鎖国が解かれ開港した五つの港の一つ、横浜で、最初に聖書普及のための支部を設置したのはスコットランド聖書協会でした。一八七五年のことです。後に代表となるロバート・リリーは、設置前に日本を訪れ、二カ月以上かけて主要都市を巡り、現地の宣教師たちと交流しながら、日本での聖書普及の実態を詳細に記録した報告書を当時のスコットランド聖書協会ディレクター、スローワンに宛てて書きました。リリーは、一八七五年五月一日に中国から長崎に来日。その後、神戸、大阪、京都を経由し、六月初旬に横浜に到着し、聖書普及の地盤作りに尽力しました。

リリーに先立ち、一八六一年頃にはすでにスコットランド聖書協会が日本支部設置が検討されていました。しかし禁教令が解かれておらず、外国人の行動制限も厳しかったため、時期尚早と判断されました。一八七二年、アレキサンダー・ウィリアムソンが来日し、日本での聖書普及事業の必要性を自国で訴えました。彼が書いたBrief Sketches of the State of Japan in 1872 and 1874. Chiefly in Reference to Education and Christianity (一八七二年と一八七四年の日本概

観―特に教育とキリスト教関係)は、日本のために二〇〇〇ポンドもの献金を集めるきっかけとなりました。

一八七五年、日本での聖書普及事業は、さまざまな苦勞と祈りのもと始まりました。本特集では、ロバート・リリーの書簡を紐解き、明治初期の日本における聖書の広まりと、それを阻んだ障壁について紹介します。

### 長崎についての見聞

リリーは、日本各地で伝道活動を行う宣教師たちと会い、彼らの苦勞や成果を目の当たりにしました。特に長崎については詳細に記録しています。当時、長崎にはすでにいくつかのキリスト教ミッションが存在し、地元の人々に聖書を広めようとしていました。しかし、キリスト教に対する偏見が強く、宣教師たちは思うように活動できませんでした。教会の建設も困難であり、少しずつ信者を増やすのが精一杯の状況でした。

それでも、一八五九年に来日した宣教師フルベッキが江戸に行くまでの十年間で四人の役人と日本人数人に洗礼を授けたこと、後任の宣教

③ しました。

### カロザースの「宗教書籍販売所」

リリーは当時、国内に少なくとも五つの書店があったと記しています。長崎、神戸、大阪、横浜、東京の五都市で、それらは主に各国の宣教団体が運営していました。聖書協会を設立する際のマーケティング調査の一環として、それぞれの書店の収支や店員の給与についても細かく報告しています。

特に「最も大規模で効率的に運営されている」とリリーが評価したのが、東京の築地居留地六番地にあった「宗教書籍販売所 (Religious Book Depository)」でした。ここはアメリカ長老派教会

の宣教師カロザースが運営し、日本語や中国語の聖書やキリスト教書を販売する拠点でした。この販売所では、日本人経営の書店に販売委託を行うなど、一般の日本人にも手に取りやすい形で流通させる工夫がなされていました。実際に一八七四年の年間販売数は、聖書や宗教書を合わせて一四、三九四冊にのぼり、他の書店の販売数を大幅に上回っていました。④ 多くの宣教師が利益を得られず、あるいは援助に頼って頒布している中で、カロザースは経費をまかな

ながら、損失を出さずに頒布を行っていたことを伝えています。これはスコットランド聖書協会が日本での聖書普及事業に参画する際の大きな参考となりました。

### ロバート・リリーの報告書の抜粋

speaking Japanese as I could. I found as the result of my inquiries, that Nagasaki would probably be the least suited of all the ports for Bible work. The island of Kinsiu, in which it is situated, is very hilly, perhaps it may be called mountainous. The treaty limits are very narrow, and contain no large villages. The people are much prejudiced against Christianity, and there are no native Christians to engage in the work. In Nagasaki there are three missions:—(1) The

#### ①長崎は適していないと記している

3 Chinese New Testaments	at 8 cents.
5 Japanese "Mark's Gospel"	10 "
10 "Evidences of Christianity" in Chinese, by Martin	3 "
7 "Clue to the True Doctrine" (Japanese)	1 "
19 "Short Road to Truth" (Japanese)	1 "
and gave away 32 "Church News," in Chinese.	

#### ②京都で頒布した聖書の数

Mr. Davidson, of the United Presbyterian Church Mission, Tokio, had a young man who seemed qualified and was willing to undertake the work in Tokio and vicinity. I engaged him at 6 dollars per month, and furnished him with books. After four or five days' persevering work from dawn to dark he gave it up, discouraged, having failed to effect a single sale.

#### ③デイヴィッドソンから紹介された若者について

English, French, and German Bibles, complete,	526
Do. do. do. New Testaments, complete,	843
Chinese Bibles, complete,	921
Do. Testaments, complete,	1,012
Japanese Gospels,	487
Total Scriptures sold, 3,789	
English Religious Books and Tracts,	711
Chinese do. do.	9,894
Grand Total, 14,394	

#### ④カロザースの「宗教書籍販売所」の頒布数 (1874年)

publication, and 2000 copies of the same Gospel were issued. The following table shows what has been accomplished in the way of publication of the Scriptures in Japanese:—

	Matth.	Mark.	Luka.	Joh.	Total.
1870-71	—	1000	—	—	1000
1872	—	2000	—	—	2000
1873	2000	—	—	2000	4000
1874	250	1000	—	250	1500
1875	250	—	6000	250	5500
Totals,	2500	4000	6000	2500	14,000

#### 1870年～1875年の和訳聖書の出版数

師スタウトが居留地に初めて日本語礼拝のためのチャペルを建てたことなどが記録されています。リリーは長崎に一週間ほど滞在しましたが、この地は聖書協会設立には適さないと判断しました。①

### 京都での聖書頒布と コルポーター探しの苦勞

リリーは、聖書がどれほど日本人に受け入れられるかを知るため、自ら聖書や冊子の頒布を試みました。京都で万博が開催されていることを知ると、神戸で通行証を申請し、中国語と日本語の聖書、キリスト教関連の書籍を入手しました。そして、英語を話せない日本人の若者を通訳として同行させ(意思疎通は中国語で筆談)、万博でにぎわう京都の街で聖書を頒布しました。八日間ほどの滞在中に頒布できた聖書はごく僅かでした。②

この経験を通し、広域に頒布をするには日本人の「コルポーター(聖書普及員)」を雇う必要性を痛感し、宣教師らに人材紹介の協力を依頼しましたが、神戸と大阪では見つからなかったと記しています。バラ宣教師のもとで学ぶ学生に話を持ち掛けましたが、キリスト教に関係して報酬を受けることを人に知られたくないという理由で拒まれました。デイヴィッドソン宣教師に紹介された若者を月給六ドルで雇いましたが、四、五日間努力したものの、一冊も売れず辞めて

### 聖書協会設立の懇願

報告書の末尾で、リリーは次のように記しています。

「これ(聖書普及)には特別な人材が必要であり、宣教師たちはこの仕事に割く時間がありません。聖書はあまりにも分厚く、価格も高すぎます。もっと小型化し、安価にするべきです。そのためには、優れた宣教用の印刷所が必要ですが、日本にはまだ存在しません。

私は、ウィリアムソン博士が自身の書簡の中で提案した、日本のための共同代理人の任命について検討し、可能であれば実行に移すことを勧めます。印刷所の運営や聖書協会の業務、それらに協力する他の団体を統括することもできるでしょう。」

「日本人は…聖書やキリスト教書籍を手頃な価格で購入できる機会があれば、進んで購入するでしょう。…日本には、この宣教活動の分野で何らかの取り組みが必要であり、それを担う人物が求められているのです。」

ロバート・リリーの報告書は、当時の日本における聖書普及事業の厳しい現実と、それでも広がりつつあった希望の光を伝えています。彼の記録は、当時の日本の宗教的な状況を知る貴重な資料であると同時に、スコットランド聖書協会が日本支部設置に向けて行動する道筋を立てる一助となりました。(E・B)

# 豊かな日本語力により聖書翻訳に貢献した 奥野昌綱と聖書

鈴木範久 すぎきのりひさ 立教大学名誉教授



奥野昌綱  
日本聖書協会蔵

日本で最初に刊行されたうえ、大きな影響を及ぼした聖書を挙げよと問われるならば、それは一八八〇（明治一三）年刊『新約全書』である、と答えても異論のある人は少ない。

同書は名高いヘボン（Hepburn, J.C.）およびブラウン（Brown, S.R.）らによって日本語に訳されたものであるが、その日本人への最大の貢献者として、だれもが挙げる人物が奥野昌綱である。

## 奥野昌綱の前半生

奥野は、一八二三（文政六）年、幕臣の子として江戸の竹内家に生まれた。一八四七（弘化四）年、奥野家の養子となり、少年時代には神田の聖堂などに通った。幕末を迎え、官軍に追われた榎本武揚の率いる軍艦

の一隻に乗船、函館に向かつて出港したが、奥野らの乗った船は烈しい波風に流されて下田に漂着。

時は流れて一八七一（明治四）年、小川廉之助（義綏）より、医師にして宣教師のアメリカ人ヘボンが日本語の教師を求めているとの話に應じる。同年暮、ヘボンの上海滞在中はブラウンの助手となり、この間、中国語訳聖書に親しむ。その結果、ついに翌年一二月、日本基督公会においてバラ（Ballagh, J.C.）から受洗。この時、すでに五〇歳だった。

## 聖書の翻訳事業

キリスト教信徒となった奥野が最初におこなった仕事は、中国語訳の新約聖書に訓点を付して刊行したことである。中国にお

いては、「God」の訳語をめぐる、「神」のアメリカ人宣教師と「上帝」のイギリス人宣教師との間に対立が生じたが、ヘボンもバラもアメリカ人だったから、奥野の接した聖書には「神」の語が使われていた。この奥野によって訓点の付された中国語訳聖書は、

まだ日本語訳聖書が出来る前のため、想像以上に広く読まれた。当時、本書によって、はじめて聖書に親しんだとする日本人信徒も少なくなかった。また、その聖書の日本語訳への影響も実に大きい。

日本語でキリスト教の重要な三種の文章をまとめたものとして「三要文」が知られている。モーセの十戒と主の祈りと使徒信経の三者を合わせた文書である。いずれも

「神」の語が用いられていて、今日も残されている最初期の「三要文」は、奥野により浄書され木版に刻まれたものとされている。

## 最初の聖書翻訳への貢献

日本のプロテスタントによる最初のまとまった聖書の刊行は、ヘボンおよびブラウンによる『新約聖書馬可伝』（一八七二）、『新約聖書約翰伝』（同）、『新約聖書馬太伝』（一八七三）と相次ぐが、いずれも奥野の協力なしには考えられなかった。それは翻訳委員社中による一八八〇（明治一三）年の一冊本聖書までつづく。

試みに同書の「路可伝福音書」をひもとくならば、ただちに次のような言葉に出会

うであるう。

宣伝、漁師、衆人、味爽、附近、税吏、義人、新郎、神殿、頑硬、勇士、迫害、桎梏、彼岸など。

すなわち、漢字に音でなく訓によるルビをふるることによって、理解を助けているのである。

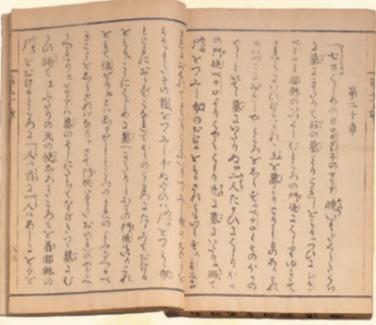
また、きわめてわずかな例しか紹介できないが、多くのことわざ同然の表現がすでに本聖書には登場している。

人はパンのみにて生るものに非ず唯神の口より出る凡の言に因（マタイ四・四）  
天に財を蓄ふべし（同六・二〇）  
兄弟の目にある物屑を視て己が目にあり梁木を知ざるは何ぞや（同七・三）  
右の手の為の事を左の手に知る勿れ（同一六・三）

風に動ざるる葦なる乎（同二・七）

このような豊かな日本語の語彙力と心遣いは、奥野にしてはじめて可能であり、このことが、信徒たちの理解をおおいに助けたにちがいない。そのみならず、聖書らしい唱えやすさと格調の高さが、文語訳聖書を、今日では日本の古典の一つにまで数えさせていると言つて過言ではない。

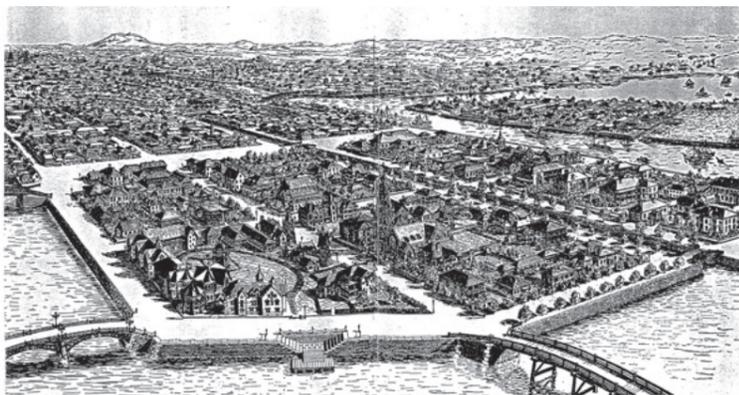
後半生は教会の教師および『新撰讚美歌』の編者もつとめ、一九一〇（明治四三）年に世を去った。



ヘボン訳ヨハネと版木



翻訳委員社中訳 1880年



築地居留地鳥観図（右斜め上が墨田川）  
The Spirit of Missions Vol.59 1894.3（立教大学蔵）

降る雪や明治は遠くなりけり 一九三二（昭和六）年、中村草田男

その明治の昔、東京に外国人居留地があったと聞いて驚く人が多い。

錦木清方の「築地明石町」で知られる中央区明石町一帯は、現在、聖路加国際病院の施設が多くを占めているが、実はこの地に明治の初めに外国人居留地が設置され、西洋文化の発信地としてハイカラを牽引する「外国の町」が造られていた。

一八五八年七月、タウゼント・ハリスと江戸幕府の間で日米修好通商条約が結ばれ、箱館、新潟、江戸、神奈川、大坂、兵庫および長崎の全国七か所の開港（江戸と大坂は開市）が決められた。江戸開市は一八六二年一月一日の約束であったが、幕末の混乱によりたびたび延期され、実際に開市されたのは明治維新後の一八六九年一月一日であった。

東京開市にともない横浜から多くの貿易商社が進出してきたが、期待に反し築地居留地全体が狭隘で海岸も浅く大型船が接岸できず、また地代も高く将来の発展が望めないことから、徐々に商人たちは横浜に帰って行き、代わって外交官や宣教師が多く移り住むようになった。

アメリカ長老教会のカロザースはいち早く居留地六番に住み、文書伝道の一環として一八七〇年に敷地内に「耶蘇教書肆」を開設したが、この店はのちに銀座十字屋へとつながった。やがて一八七三年二月二四日に切支丹禁制の高札が撤去されると、各派教会は宣教師を増派し礼拝堂や学校を建て有力な宣教師も定住しはじめた。

旧新約聖書の和訳に尽力したアメリカ監督教会（聖公会）のチャニング・ムーア・ウィリアムズ、アメリカ長老教会のデビッド・タムソン、イギリス伝道協会（CMS）のジョン・パイパーおよびフィリップ・K・ファイソン、アメリカ・オランダ改革教会のG・F・フルベッキ、カトリック教会のM・A・ステイシェンさらに正教のニコライも一時築地に居住した。一八七四年に

来日したスコットランド一致長老教会の宣教師フオルズは、日本人に盲人が多いことから米  
国聖書協会に依頼し凸字聖書を取り寄せ配布伝道し、のちに活字と凸文字印刷機を輸入し、自  
身が開く築地病院の一室で凸字聖書の印刷を行った。

明治も一〇年代に入ると外国公館も数を減らし、宣教師館、教会およびミッション・スクー  
ル等の洋風建築が建ち並び、すっかりキリスト教一色となり、宣教師とその家族や男女生徒・  
学生たちが行き交い、横浜や神戸など交易場としての居留地と違って文教中心の町へと変化し  
ていった。

今日の東京ユニオン・チャーチ、新栄教会、芝教会、巣鴨教会、銀座教会、カトリック築地  
教会、聖パウロ教会、和泉教会、東京聖三教会や女子学院、明治学院、立教学院、青山学院、  
立教女学院、雙葉学園、暁星学園、関東学院、女子聖学院など、教会および学校がここ築地居  
留地で産声を上げ成長していった。

一八八〇（明治二三）年四月一九日に築地南小田原町の新栄教会（当時の名称は新栄橋教会）  
で、日本語訳新約聖書完成祝賀感謝会が開かれ、続いて一八八八（明治二二）年二月三日には、  
居留地二七番に移った新栄教会で日本語訳新旧聖書完成祝賀会が催され、築地居留地は「明  
治訳聖書」のゆかりの地となった。また一八八一年には築地居留地二二番二号にアメリカ・メソ  
ジスト監督教会が印刷所と聖書類の販売所を開き、その後、日本聖書協会の母体の一つ英国  
聖書協会も居留地五一番のイギリス伝道協会の宣教師館に置かれ、築地居留地は聖書との縁も  
深まった。

一八九九（明治三二）年七月、幕末に江戸幕府が欧米諸国と結んだ不平等条約から領事裁判  
権（治外法権）を回復した改正条約が施行され、これによって全国七つの外国人居留地が一斉  
に廃止となったが、築地居留地はその後も洋館が立ち並びエキゾチックな景観を残していた。

ところが一九二三（大正一二）年九月一日に関東大震災が発生し、かつてあった「東京の外国」  
はたった一日で跡形もなく消滅してしまった。と同時に東京に外国人居留地があったこともいつ  
しか人々の記憶から遠ざかり、震災後日本橋から築地に移って来た魚河岸がこの地区を代表す  
るようになって、つい先日まで築地と聞くと「魚河岸」というイメージが人々に定着していった。  
築地居留地が廃止となって二五年、明治は益々遠くなりけり。



中島耕二（なかじま こうじ）  
元明治学院大学客員教授・東北大学博士（文学）  
日本基督教団新栄教会長老

中島耕二先生と行く築地居留地ツアーを6月に開催予定です。  
詳細は日本聖書協会公式サイトをご覧ください。  
<https://www.bible.or.jp/>

# 「明日に向かって種を蒔こう」



小友 聡  
おとも さとし

日本旧約学会会長



種をまく人  
ジャン=フランソワ・ミレー  
(1814-75)  
1847-48年 油彩・カンヴァス  
95.3cm×61.3cm カーティフ  
国立博物館蔵、ウェールズ

## コヘレトは虚無主義者？

皆さん、新しい『聖書協会共同訳』を読みましたか。現在、多くの教会で使用されている新共同訳聖書に比べて、翻訳の精度が高く、またとても読みやすくなっています。私が紹介したのは「コヘレトの言葉」です。この書の解釈はとても難しいのですが、1970年代までは、著者コヘレトは世をはかなむ厭世主義者、また懐疑主義者と見なされ、支離滅裂な論調で書かれていると解釈されました。新共同訳もそうです。小見出しが一つも付いていないことにも表れています。

11章を例に挙げましょう。新共同訳の区切り方を見ると、まず8節で区切られ、また10節でも区切られます。いずれも「空しい」で終わり、厭世的な結論となります。また1-8節では、畳みかけるような懐疑的表現が際立ちます。7節に明るい表現がありますが、懐疑的な文脈の中に埋没してしまい、懐疑主義者コヘレトの姿が浮き彫りにされます。

## 聖書協会共同訳の新しい

しかし、「コヘレトの言葉」の解釈は、この30年ほどの間に、ずいぶん変わってきたように思われます。現在では、この書は決して

この1-6節は確かに否定的な表現が目立ちますが、ヘブライ語の接続詞に注目すると、否定的表現は理由を意味することがわかります。つまり「知らない」「知りえない」はコヘレトの否定的結論ではなく、むしろ理由や根拠を説明しているのです。

この段落で、コヘレトの結論は、最終的に「朝に種を蒔き、夕べに手を休めるな」(6節)です。どの種が実を結ぶかわからないのは、コヘレトの結論ではなく、理由なのです。どの種が結ぶかわからない、先行き不透明な状況が理由となり、だからこそ「朝に種を蒔き、夕べに手を休めるな」とコヘレトは命じるのです。不可知性が媒介となり、跳躍台となって「朝から晩まで種を蒔き続けなさい」と結論付けられます。

## 明日に向かって種を蒔こう

コヘレトはこの書で「空しい」を38回も繰り返しますが、それは結論ではありません。コヘレトの時代に、人の寿命は40歳に届きませんでした。人生は短く、束の間なのです。それをコヘレトは「ヘベル」と表現します。聖書協会共同訳は「空」と訳します。この「空」が理由となって、コヘレトは生きよと勧め、「朝から夜まで種を蒔け」と命じます。これは悲観的ではなく、むしろ

支離滅裂ではなく、一貫した思想的論調の書であると解釈されるようになりました。聖書協会共同訳はそのように訳されます。文の区切りは、1-6節、7-8節、9-10節です。7節の「光」「太陽」は12章2節の「太陽」「光」と対応して段落の枠を作っています。11章1-6節が一つの段落となります。

1. あなたのパンを水面に投げよ。月日が過ぎれば、それを見いだすからである。
2. あなたの受ける分を七つか八つに分けよ。地にどのような災いが起こるか。あなたは知らないからである。
3. 雲が満ちれば、雨が地に降り注ぐ。木が南に倒れても、北に倒れても。その倒れた場所に木は横たわる。
4. 風を見守る人は種を蒔けない。雲を見る人は刈り入れができない。
5. あなたはどこに風の道があるかを知らず、妊婦の胎内で骨がどのようにできるかわからないのだから。すべてをなす神の業は知りえない。
6. 朝に種を蒔き。夕べに手を休めるな。うまくいくのはあれなのか、これなのか。あるいは、そのいずれもなのか。あなたは知らないからである。

建設的で前向きな教えではないでしょう。このコヘレトの論理がよくわかるように、聖書協会共同訳は翻訳しています。この新しい翻訳は精度が高く、また聖書の言葉の意味を深く掘り下げていると思います。

コヘレトは将来がどうなるかわからないからこそ、今、最善を尽くし、とことんまでやりなさいと言っているのです。実際、古代においては種を蒔いても、多くは実を結びません。いや、すべての種がだめかもしれません。もしコヘレトが真正の悲観主義者なら、やっても無駄だと言うでしょう。けれども、そうは言いません。どの種が実を結ぶかわからないからこそ、種を蒔こう、全力で種を蒔こうと勧めます。マルティン・ルターの言葉「たとえ明日、世の終わりが来ようとも、今日、私はリンゴの木を植えよう」ととてもよく似ています。たとえ明日が終わりでも、今日、リンゴの木を植えるのです。

これは、先行き不透明な今の時代、私たちの心に届く言葉ではないでしょうか。2000年前の聖書の言葉が時代を超えて、今日の世界に光を放ちます。福音の訪れです。聖書の原典の息吹をきちんと伝えてくれる聖書協会共同訳は、御言葉の意味の深さを私たちに教えてくれます。さあ、皆で明日に向かって種を蒔きましょう。

## 大賞

かばんの中の小さな聖書  
こぼやしきよ

旅が、好きだ。  
日常から離れる開放感と心地よい緊張感が癖になる。

友人たちとわいわい出かける旅も楽しかったが、ひとり旅も良かった。寝台車に揺られてのんびり目的地を目指したこともあるし、海外に住む友人を訪ねたこともある。

そんな旅に欠かせないのが、文庫本だ。移動時は、じっくりと本を読む絶好の機会。だから、私のバッグにはいつも、2、3冊の文庫本が入っていた。

それに加えて、もうひとつバッグに忍ばせているものがあった。それが、聖書だ。

旧約・新約が一体になっていて大きな聖書は、持ち歩くのに不便だったが、私が持っていたのは、文庫本と変わらない大きさの新しい聖書だった。

それを、旅先では枕元に置いて寝た。知らない土地にひとり、不安がないわけではない。聖書があると、神さまがともにいて下さることを感じられて、ほっとした。

クリスチャンの母に育てられた私は、幼い頃から

聖書に親しんできた。子ども向けの聖書の絵本から始まって、小学生になると聖書を買ってもらった。聖書は「本」というより、まさに「神さまの言葉」だった。だから、手元にないと、ちょっと心もとない。

しかし、結婚し、子どもが産まれてからは、旅に聖書を持っていくことがなくなった。小さな子どもをつれて出かけるのは自家用車が多かったし、帰省で遠方へ移動する際も、子どもの世話に追われて、聖書を開く余裕はない。だから、いつしか、小さな聖書は、私の本棚から取り出されることがなくなっていたのだ。

あるとき、小学校の高学年になった娘が言った。「ママ、聖書が読みたい」

私はびっくりしながらも、嬉しかった。

教会学校の教師をしていた私は、娘をつれて教会へ行っていたのだが、娘はそれまで聖書に関心を示していなかったからだ。「そろそろ自分の聖書がほしくない？」と言っても「いらない」の一点張り。無理に与えるより、自分から求めるようになったときに買ってあげた方がいいだろうと、そのままにしていた。

それが、急に聖書に興味を持ったという。

「ママのいいよ」

まだ、大きい聖書はいららないらしい。

そこで私が思い出したのが、あの聖書だ。私の

## 聖書を

持たせてあげられなかった、  
あの日のおじいさんへ

ゆか子

あの日、遺族の方が抱きしめていた、たった一冊の聖書が忘れられない。

私はかつて葬儀に関わる仕事をしていた。この国の葬儀の大半は仏式で行われる。

だけれども、たまにキリスト教の葬儀をすることがあった。

仏式とは何もかも手順が違う。

新人だった私は、先輩のアシスタントをするだけで精一杯だ。

亡くなったあるおじいさんを棺に納め、私は遺族の女性に「何か棺にお入れしたいものはありますか？」と聞いた。

彼女は一冊の分厚い本を、とても大切そうに取り出して「これだけは入れてください」と私に差し出した。

何度も何度も読み込まれた、真っ赤な表紙の聖書だ。

頭をガツンと殴られたような衝撃を覚えた。

聖書を見た瞬間、(この本は入れられない)と思っただけだ。

本は紙製なので一緒に火葬出来ると思われがちだが実は違う。

紙の束には空気が入らず燃え残る為、分厚い本

は基本的に入れられないのだ。

だが、そうだとっても、この聖書がどれだけのおじいさんにとって大事な物かは痛いほどわかった。

たった一つ、この聖書を抱えて天国へ旅立ちたいという気持ち。

きっと故人様の心をたくさん救ってきたものだ。

私はキリスト教ではないし、信仰心も厚くない。それでも、「こんな分厚い本入れられないです」とはどうしても言えなかった。

「本のページを千切って入れてくれたら燃えやすくなります」なんて、もつと言えなかった。葬儀の担当者や先輩が、分厚い本を入れることができないと丁寧に説明する中で、私は何も言えず、ただ棺の中で横たわるおじいさんに心の中で謝ることしかできなかった事を未だに覚えている。

赤い聖書は、結局遺族様が形見に持つておくことに決まった。

だから、きつと今頃旅をして天国にいるであろうおじいさんに伝えておきたい。

おじいさん、きつとそちらには神様がいらっしやると思います。

天国はとても平和で優しい光の溢れている場所で、苦しいことも、辛いことも無いと思いますが、それでもあの聖書はおじいさんの宝物だからきつとまた読みたくなるのではないでしょう。

聖書は、辛いときや苦しい時にしか読んでいけないものではないと思っています。

旅に同行し、私を支え続けてくれた、本棚に眠っているあの小さな聖書だ。

その晩から、娘は寝る前にベッドで聖書を読むようになった。「難しくないのかな？」と思いつつも、何か聞かれたとき以外は口出ししない。

赤ちゃんの頃から教会学校で学んできた娘は、内容を理解していたのだ。教会へは友だちと遊ぶためだけに行っているように見えて、子ども向けの「聖書のおはなし」は、娘の心につかり届いていたのだ。

小さな、すっかり古くなった聖書だが、これからは始まったばかりの娘の人生の旅に寄り添ってくれるだろう。大きな嵐に揉まれることがあっても、「神さまの言葉」が娘を力づけてくれるに違いない。

## ●選評

こぼやしきよさま、大賞おめでとうございます！

静かにしみる清らかな水のようなエッセイです。

かつては旅先の枕元にあつた小さな古い聖書。いまは娘さんの枕元にあり、毎晩小さな手によって開かれていること、目に浮かびます。教会学校の働きが実を結んでいる事実にも、嬉しくなりました。(林あまり)

小学校のとき、お母様から買ってもらった小さなサイズの聖書。いつも旅先に持参していたその聖書は、やがて小学校の高学年になったお嬢さんの手に渡ること。母から子へ、さらに孫へと世代を超えて、人生を旅する人々のかたわらに聖書はいつも寄り添ってくれることが鮮やかに描かれた、素晴らしいエッセイでした。(清涼院流水)

天国に居ても、宝物の価値は変わりません。

その宝物と一緒に棺に入れられなくてごめんなさい。

代わりに、遺族さんの様子を天国から時々覗いてあげてくださいませんか？

貴方が居なくて、淋しくて聖書を開く遺族さんに、貴方の宝物を貸してあげて下さいませんか？いつか長い旅をして、貴方のもとに家族さんがやってくる日が来ます。

きつと聖書は持つて来られないけれど、その時はきつと、おじいさんの宝物は別の誰かを救っているはずですよ。

どうか、その誰かにまた、宝物をお貸ししてあげてください。

おじいさんが安らかな眠りにつかれるよう、お祈り致します。

## ●選評

ゆか子さん、準大賞おめでとうございます！

葬儀に関わるお仕事の中で、分厚い聖書を棺に入れられなかった場面が鮮やかに描かれています。

亡くなったおじいさんの棺に入れられなかった聖書は、遺族のもとに形見として残りました。いつか誰かが読むかもしれませぬ。そのとき聖書はまた新しいいのちを得るでしょう。(林あまり)

かつて葬儀関係のお仕事をされていた筆者が、「棺に入れてください」と遺族から託されたのは聖書でした。ですが、分厚い本は燃え残るため規則で入れられなかったことが、すつと後悔としてあつたのです。あのとき、できることなら、おじいさんの棺に聖書を入れてあげたかった、という切なる想いが心にしみます。(清涼院流水)

## 準大賞

百人百色、一つの信条に

加藤礼野

百人百色の人々が、みなひとつの信条の下に生きている。それが、どれだけ美しかったことか。

高校一年生の、冬が春になるまでの1ヶ月。私はカナダに短期留学し、現地の学校に通っていた。この留学は日本で通うカトリック高校のプログラムで、そのせいなのかホストファミリーも学校の先生もみんなクリスチャンで、授業でも毎朝聖書を学ぶ時間があつた。そもそもカナダという国自体がクリスチャンの多い国であるので不思議なことではないのだけれど、私にとってはこんなにクリスチャンに囲まれているということは大きなことで、無宗教の日本とは全然違うな！と日々感じていた。

いろんな、色んな思い出ができて、一ヶ月後、最終日。大好きなホストファミリーと、大好きな先生と、それぞれ最後にお話しした時。どちらも最後に言った言葉は、「どんな時も神は傍にいる。」だった。それだけは覚えておくのよ。そうすれば、きっとこの先、何があっても大丈夫。私の手を握って、まっすぐ目を見てそう言い聞かせてきた彼女たちの顔を今でも鮮明に思い出せる。最後までプ

れないんだな、この人たちは。その時はそう思った。本当にこの人たちは、聖書の心を奥底に持って生きているのだな、と。

飛行機が飛び立って、愛しい愛しいあの地から離れていく、その時。地面が遠くなるにつれて、涙が溢れて止まらなかつた。目の奥に愛しい人たちの顔や言葉が次々に浮かぶ。ああ私がこれから帰る場所は、信仰のないところ。神の護りを、誰も信じやしない、冷たい地。ここに神の護りはない。ここにひとつの意思はない。信条を持たない人々が皆、生き方に悩み、行先も分からず、交差点をいつまでも徘徊するような。

これまで、信仰だとか神だとか、そんなことを考えたことなど一度もなかつたのに、なぜだかその時そんなことばかりを考えた。きっと私があの国をあんなに好きなのは、自分の芯を頑として持つあの人たちのことが好きだからなのだと、気づく。

多様性という言葉をまんま再現したような、国のルーツも話す言葉も食べるものも習慣も人によって全く異なっているこの国で、ひとつの信条が根を張って、全ての人の支えになり、全ての人をひとつの仲間として囲っている。百人百色の人々が、みなひとつの信条の下に生きている。それがどれだけ美しいものであつたかを、もう鉄の塊の中に入ってしまったから、理解してしまった。

広い世界を知る、とはまさにこういうことだったのだろうな、と思う。

私は日本に帰ってからまたカトリックの高校に通っているけれど、あの場所とは違ふと、毎日思う。それでも、全体としてひとつの信条を掲げていることは、なんとなく仲間意識を持つ団体の中にいると感じることができて、すこし嬉しい。そんな私は進学先に今度は、プロテスタントの学校を選んだ。今度は今とはちょっと違った信条を持つ人々に、出会うために。私の旅はまだまだ終わらない。

●選評

加藤礼野さん、準大賞おめでとうございます！

貴重な経験を積まれましたね。それまでカトリックの学校に通っていた筆者が、帰国してからの進学先にプロテスタントの学校を選んだことも、きつとさらに視野を広げるでしょう。

最後の「私の旅はまだまだ終わらない」がステキですね。

(林あまり)

無宗教と言われることも多い日本で暮らす筆者が、カナダに短期留学中して体験したのは、多様な人たちがキリスト教というひとつの信条のもとで生きている美しい姿でした。カナダから信仰不毛の地である日本へ帰国する際の筆者の憂鬱と悲しみが、旅先で確かに経験した理想郷の素晴らしさを際立たせています。

(清涼院流水)

抽斗の伝道者

びわしゅ

ホテルの客室の抽斗には、必ず聖書が入っている。夜に朝にクリスチャンは聖書を開き、神様に祈るから。それくらい聖書はメジャーなものなのよ、と母はマスカラを塗りながら言った。その夜、私は母と博多のホテルに宿泊していた。母がネットでも知り合ったという恋人に会うためだった。

もうじき彼が来るから、あなた好きに遊んでらっしゃい。初めての街で、高校生の私は放り出された。まだスマホもない、iモードの時代。しかも夜。どこに何があるのかもわからない。ご機嫌な母とは裏腹に、私はこの後起きる事態を暗澹たる気持ちで予測しつつ、思った。ここは九州。誰も私のことを知らない。このまま吉野ケ里遺跡を見に行つて、逃げてしまいたい、と思った。吉野ケ里の後は、長崎で中華街に遊ぶ。その後は、その後はどうしよう。そのまま母のもとに戻らず、消えてしまうのだろうか。

ぼんやり考えたものの、私には行動力も資金もない。匂いに誘われるがままホテルからほど近い

屋台に座り、勇気を出してとんこつラーメンを頼んだ。出てきたラーメンは、何を食べるか迷うことに罪悪感を抱くような私でも、とてもおいしい、と素直に思えた。食べ終わる頃、電話が鳴った。出ると、咽び泣く母の声が聞こえた。今日は結末まで早かつたな。私は急いで客室に戻つた。

重いドアを押し開けると、母がこの世の一切を憎むかのような形相で、涙を流し、車椅子に座っていた。せつかく着た豪華なレースの下着も、時間をかけた化粧も、意味を失っていた。恋人が来たのか来なかつたのか、私は聞かなかつた。

「あなたのせいで」母が絞り出すように言った。「あんたさえ生んでなければ。あんたさえ、いなければ」

母の呪詛は聞き慣れている。なにか悪いことが起きれば、いつも私のせいになる。

「ごめんね」

ごめんね、生まれてきてしまつて。心の底から原罪を詫び、母のしてほしいことをする。痙攣する下肢をさすり、60キロの体をなめらかにベッドへ移す。泣きたいだけ泣けるようにクッションをかき集め、母の背中に押し当てる。抽斗からは聖書を出す。

『空の空、一切は空』

私は伝道者の書を朗読する。『曲がつたものは、まっすぐにすることができない、欠けたものは数えることができない』

母はおんおん泣いている。求めても求めても、彼女は男に愛されない。

私は母がうまく、そして早く死ぬるようにと願つた。恋には奔放で、離婚する程度には自由で、それでいて自殺できない程度には敬虔なクリスチャンである彼女の、深い絶望と悲しみは、死によつてしか救われないうとほとんど確信すらしていた。

「今度は、普通に来ようよ。博多。ラーメン、おいしいよ」

恐る恐る母の背をさする。母は私を振り払う。

「だいつきらい」

空の空。一切は空。ホテルに泊まり抽斗に触れるたびに、思い出される母の記憶。

●選評

びわしゅさん、私にはこのエッセイが最も心に響きました。明らかに放置され、虐待を受けていた筆者。「なにか悪いことが起きれば、いつも私のせいになる」

それでもホテルの抽斗の聖書は、語りかけるようにそこにあるのです。

きつこのかたは、なにかしらの表現者でいらつしやるのだろつと思いました。

(林あまり)

青春の旅

まつち

1989年5月、24歳の私は薄曇りのヒースロー空港に降り立った。『地の果てまで』というキリスト教の新聞を発行している団体が主催するイ

ギリスホームステイ語学留学の旅に応募した。滞在先はプリストルとマンチェスターから選べたが、私はプリストルを選んだ。

マカイラというかわいらしい3歳の女の子がいる若いカップルのご家庭にホームステイしながら、平日は語学学校に通い、週末は家族で教会の日曜礼拝に出席したり、近くの観光地に連れて行ってもらったりして過ごした。

ホストマザー、といっても私よりも3歳年上なだけのタニアは専業主婦で、毎朝マカイラを抱っこして、玄関先まで語学学校に通う私を見送ってくれた。ホストファーザーのジョンはタニアと同じ年で、近くの日本企業に技術者として勤務していた。家の中ではジョンが1番早起きで、朝ご飯のトーストとコーヒー、ミルクやシリアルなどの朝食の準備をしてくれ、私がそれを食べ始めたころに出勤して行った。その後タニアとマカイラが起きてきて私と一緒に朝食をいただいた。プリストルは市の中心部に世界最古のメソジスト教会があり、その近くに私の通う語学学校があった。ホームステイ先の家は、郊外にあったので、毎朝バスで通学した。語学学校の生徒たちは、世界中

から集められていて、スイス、エジプト、中近東など肌の色や人種もさまざまであった。一人だけ日本人の子がいて、同年代なこともあり、すぐに仲良くなった。その女の子千絵さんは1年前からその語学学校に通っており、すでに英語はペラペラだった。私は1か月の予定であったが、滞在中ほとんど千絵さんとばかり話していたため、結局あまり英語が身につかないまま、終わってしまった。千絵さんは久しぶりに会った日本人の私と話すのが楽しいとのことであった。

千絵さんは結婚も考えていた彼氏と破局したばかりで、一緒にプリストルの街中を歩いているとき、ふと涙ぐむ時があった。日本ではキリスト教系の女子大を卒業したこともあり、聖書の知識があり、英語の聖書を購入し、読み始めたばかりであった。しかし、英語の聖書は理解できても、微妙なニュアンスが伝わらず、日本語の聖書が欲しいと言っていた。私は恋愛経験が皆無で、なかなか千絵さんの気持ちに寄り添うようなことが言え

なかった。しかし、心の中で千絵さんがキリストに会い、心が救われるように祈っていた。私はクリスチャンだった祖母から、小学生の時にももらった口語訳の聖書を日本から持ってきていた。最後の日に空港まで見送りに来てくれていた千絵さんに、別れ際にその聖書を渡すことができた。

それから36年が経過した。あの聖書は今、どうなっているのかは知る由もない。しかし、あの時、聖書が必要としていた人にタイムリーに聖書を渡すことができた。神の言葉である聖書がきつと千絵さんを助け、導いてくれたと信じている。

### ●選評

イギリスにホームステイした36年前、語学学校のふたりだけの日本人として筆者は千絵さんと親しくなりました。彼氏と破局した千絵さんにつまぐ言葉をかけられなかった筆者が別れ際に渡したのは、祖母からもらった自分の大切な聖書。その後の千絵さんの消息はわからないけれど、聖書に託した思いが心に響きます。  
(清涼院流水)

## 松谷賞

### 初めての教会訪問はGPSゲームと共に

朝霧翼

点』に行くともンスターを捕獲したり、戦ったりできるゲーム。当時はとても流行っていた。

駅に行くのに必ず通る道に、大きな教会があった。そこは必ずモンスターの出る『地点』で、私は歩道の邪魔にならないところで、モンスターと戦っていた。

レイドバトル。つまり、複数人のプレイヤーで一体の強いモンスターを倒す。こういったゲームにはちょっとした待機時間がある、その間に私は教会の掲示していたプリントを読んでみた。

『ボランティア募集』。貧しい人にお食事を配るボランティアらしかった。

私の職能が生かせるかもしれないと思った。また、転がり込む先が友人の家でなかったら、もし、そこが東京の路上だったら……きつとこういう支援を受ける立場だっただろう。今日の仕事が終わったら、問い合わせてみよう。

そして簡単な手続きを経て、私は教会の人のお

2020年代某日、私は神田の教会前にいた。手にはスマートフォン、GPSを利用して位置情報アプリゲーム。画面に映るアバターの私は、お気に入りのモンスターを引き連れて、東京の暴虐なる両親がいる群馬の実家を出て、東京の友人の家に転がり込み。

手伝いをするようになった。

夜の東京の下真ん中。路上生活をしている方を中心に、炊き出しをする。初日に「最後尾はあちらですよ」と言われて並んでみたらもう方の列だった時は少し焦ったが、それなりにお手伝いできたと思う。

教会のボランティアに参加して、私は礼拝にも興味を持ち、日曜日になると通った。

しばらく通った後、牧師さんに促されて皆の前に出て、信仰を告げた。何を話したのかは緊張して覚えていないけど。

「君には見込みがあるから」と渡されたポケット版の最新聖書。仕事以外で認めてもらったことが嬉しくて、ずっと私の宝物だ。

教会に行くとも聖書は貸してくれるから、持ち歩くことはないけれど、家で取り出したら様々な言葉や葉をなぞる。

位置情報アプリゲーム。モンスターと一緒にの旅。

家事代行としてそこそこ仕事をこなしていた日々。仕事では色々な路線を利用し、たくさん歩き、様々なお宅を訪問する。東京という地理的条件も相まって、位置情報アプリゲームはとても捗った。

スマートフォンでGPSを利用して、特定の『地

その旅は私を、信仰という目的地に連れて行ってくれた。

『地点』にいるモンスターと戦うのが目的だった。けれど、それがきっかけで教会のボランティアに参加し、礼拝に参加し。

数回の引越しを経た今も、私の本棚には神田の教会でいただいた聖書がある。

### ●選評

「GPSを利用した位置情報アプリゲーム」が登場した当初、教会を含む宗教施設がゲーム上の重要ポイントに（自動的に）設定されていることをめぐって宗教サイドからさまざまな反応が見られた。第三者によって「聖域」が荒らされかねない危険する否定的なものが大半を占める中、動機は何であれ少しでも接点になるのならとわずかな可能性に期待する声もあった。本作は「地点」にいるモンスターと戦う「目的で教会を訪れ、ボランティアに参加し、礼拝にも参加する」という事例が実際にあったことを証明している。聖書へのアクセス方法は実に多様で、何がどう用いられるかは神のみぞ知る。そんなごく当たり前のことを改めて教えてくれた。  
(松谷信司)

## 総主事賞

### コロナ禍の信仰

永江恵利

2021年5月20日、母が発熱し、PCR検査を受けることになった。初回の検査では陰性だっ

たが、数日後に再び発熱し、2回目の検査で陽性と診断された。肺炎も併発していたが、当時はホテル療養施設も満室で、自宅療養を指示された。しかし、母の容態は急速に悪化していった。何度も保健所に電話をかけ、懇願の末、ようやくホテル療養の手配が整った。しかし、ホテル到着後に酸素濃度の低下が確認され、そのまま緊急搬送される事態となった。診断は間質性肺炎。濃

厚接触者として自宅で待機していた私は、母の容態が刻一刻と悪化する中で、病院に行くことも叶わなかった。

夜の2時、電話が鳴った。「今夜が峠かもしれませんので、覚悟をしてください。」その言葉は、まるでテレビドラマのようで現実とは思えなかった。

「もし、母に何かあればどうしたらいいでしょ

# 第3回 聖書エッセイコンテスト 授賞式

特別対談「聖書×旅」林あまり氏×清涼院流水氏×松谷信司氏



大賞の授与（右・こばやしきよさん）



特別対談の様子

2025年1月25日（土）午後、銀座資生堂ビル9階「ワードホール」を会場に、エッセイコンテストの授賞式が対面とオンラインのハイブリッドで開催されました。ノミネートされた方やご家族も含め多くの方にご来場いただきました。みなさんが固唾を呑んで見守る中、過去最多の応募数88作品からノミネートされた18作品のうち、大賞、準大賞、佳作、特別賞の発表がなされました。今回は昨年の2つの特別賞、あまり賞と流水賞に加え、キリスト新聞社代表取締役社長松谷信司氏が選んだ松谷賞と当協会総主事が選んだ総主事賞の2賞も授与されました。

大賞を受賞されたこばやしきよ様（「かばんの中の小さな聖書」）は執筆を振り返り「いつも聖書はそばにあって私を励まして導いてきてくれました」「娘にも信仰を受け継ぐことができ本当にうれしく思います」とコメントされました。来場が叶わなかった受賞者もオンラインでコメントをいただきました。

授賞式後は、審査員を務めた3人を登壇者として迎え特別対談が行われました。受賞作品に対する登壇者のそれぞれの思いと聖書×旅というテーマについて登壇者の経験なども交え語っていただきました。

授賞式及び特別対談のもようは日本聖書協会YouTubeチャンネルで公開しています。

授賞式及び特別対談のもようは日本聖書協会YouTubeチャンネルで公開しています。



日本聖書協会 聖書普及事業 150年記念式典  
及びレセプションを開催いたします。  
ぜひご出席ください。

**式典** 日時：2025年10月1日（水）午後3時～4時半  
会場：東京カテドラル聖マリア大聖堂・カトリック関口教会  
（東京都文京区関口3-16-15）

**レセプション** 日時：同日 午後5時～7時  
会場：ホテル椿山荘東京 ホテル棟 1F「Ballroom」（関口教会向かい）

詳細はこちらから [https://www.bible.or.jp/150th\\_anniversary.html](https://www.bible.or.jp/150th_anniversary.html)



うか。」私は尋ねた。しばらくの沈黙の後、返ってきた答えは、「もし危篤状態になれば、防護服を着た状態で面会することが出来ます。ただし、濃厚接触者としての状態では病院に入ることはできません。」というものだった。「そうですか。ありがとうございます。」と電話を切り、その意味を考えながらも理解が追いつかなかった。カーテンの外が明るくなる頃、もしかしたら、生きている母にはもう会えないかもしれない。いや、亡くなった母にすら会えないのかもしれないと気づき、涙が止めどなく溢れた。

この時期、母の病気との闘いは私にとっても大きな試練だった。母が信仰と愛で家族を支え、私たちを導いてきたように、私もまた神の助けを求める旅に出たのだ。この祈りの旅は、私にとって初めての神への祈りの旅でもあった。

「神様、どうか母をお守りください。」クリスマスチャンでない私が、生まれて初めて神に祈った。母はいつも神を信頼し、家族を導いてくれた。その姿は、私たちにとって何よりも大きな支えだった。私たちが祈らなくても母が祈ってくれていたことを、改めて実感した。

奇跡が起きた。母は一命を取り留めたのだ。入院から4か月後、ガラス越しに再会した母はベッドに横たわり、驚くほど細く、弱々しかった。しかし、6か月後、退院の日には頼りない足取りながらも、自分の足で歩いて部屋に入ってきた。それはまさに奇跡だった。同行してくれた看護師さんも涙を流していた。私たちはただただ神の力を感した。母が再び輝く姿はつきりと見えた。

「彼はわたしを慕う者だから彼を災いから逃れさせよう。わたしの名を知る者だから、彼を高く上げよう。彼が私を呼び求めるとき、彼に答え苦難の襲うとき、彼と共にいて助け 彼に名誉をあたえよう。」

2024年4月、洗礼を受けた私が見つけたこの聖句が、あの困難な時期に私が感じた信仰の旅の証である。

あなたの存在が、私の心に深く刻まれたことを感謝いたします。

**● 選評**

2023年5月、新型コロナウイルス感染症の位置付けが「5類」になった時に、私たちはある種コロナ禍の危機を脱した事を、今では遠い昔のように覚えていてます。コロナ禍で経験した試練は、震災の時とはまた異なった意味で私たちの記憶に深く刻まれています。

私たちの周囲でもコロナ感染によって亡くなられた方々がおられました。死線をくぐり抜けて生還した方々もおられました。そのような事を思い起こさせてくれる作品として、こちらを選ばせてもらいました。厳しい試練を通して、「お守りください」という神への涙の叫びの音が届き、ついには洗礼へと導かれたというストーリー（証）は読むものにとって大いなる慰めです。

「あなたがたを襲った試練で、世の常でないものはありません。神は真実な方です。あなたがたを耐えられないような試練に遭わせることはなさらず、試練と共に、それに耐えられるよう、逃れる道をも備えてくださいます。」（聖書協会共同訳 1コリント10:13）

信仰の旅路を続けてください。神の祝福が豊かにありますように。

（貝志堅聖）

## 第4回 聖書エッセイコンテスト

開催決定

応募要項の発表は5月以降の予定です。  
日本聖書協会公式ウェブサイト  
特設ページをご覧ください



<https://www.bible.or.jp/bibleessaycontest4.html>

**佳作**  
青い聖書  
聖書と歴史の旅  
アガペーとは何か知りたくて  
或る家族の旅路  
散々な旅に待っていたもの  
取り去り給う  
「ごきげんよう」で始まった私と聖書の旅  
おふくろの苦  
叶えられなかった祈り  
旅の行き先  
シスターに会いに

原悠華  
佐々木和宏  
豊田航志朗  
福井たかひろ  
森惇  
銀次郎  
古賀裕一  
ひろ  
冬崎桂  
川崎栄太  
木一湖

第3回聖書エッセイコンテスト応募合計88点

公式ウェブサイトに全受賞作品を掲載しています  
[https://www.bible.or.jp/bible\\_essay\\_contest/award-3rd](https://www.bible.or.jp/bible_essay_contest/award-3rd)

# 石川義一と視聴覚部の働き



松山番町教会前に掲げられた人形芝居と幻燈会の案内板（1951年）



社町（現兵庫県加東市）で上演された人形劇の様子（1951年）  
舞台左で石川義一が説明している



人形劇を食い入るように見る子どもたち（1953年、函館で撮影）  
娯楽の少ない時代、人形劇や幻燈灯は子どもたちの楽しみだった

現在、聖書協会には、2019年に合併したキリスト教視聴覚センター（AVACO）が前身の視聴覚部がある。だが、それ以前にも視聴覚部が存在した時期があった。活動内容は16ミリトーキー映写機、幻燈機、人形芝居、紙芝居、展示用聖書を常備し、希望に応じて全国の教会に出張するというものであった。1954年4月の発足時、映写機1台、トーキーフィルム5本、テープレコーダー1台、幻燈機25台、幻燈フィルム300本を保有していた。同年の活動実績は、全国各地を巡回し、「通算124回の諸集會に出席し、礼拝説教・講演・映画・人形芝居及び講習等」への奉仕であった（『聖書協会報』1955年2月号）。

視聴覚部の発足には、関西支社から銀座本社に移った石川義一（1902生～1990没、1948～1967まで聖書協会に在職）の働きが大きかった。石川は、日本日曜学校協会総理事や大阪女学院教諭を務めたのち聖書協会に入った。キリスト教視聴覚教育のエキスパートで、殊に人形劇に関する造詣が深く、『人形芝居の研究』という著作のほか、雑誌『AVACO』1958年5～7・8月号で3回にわたり「人形芝居概観」という記事を寄稿している。

石川は、関西支社主事の頃から頒布活動に人形芝居を活用していた。当時の四季報には、「関西支社に於いても、石川主事が得意の人形芝居をもって十月、四国各地へ普及員の応援に出掛けこれまた現地普及員を非常に



第3回北海道特別頒布の際に撮影された写真（1954年）  
写真中央が石川義一

勇気づけ…」とある（『聖書と日本』1951年11月号）。視聴覚部でも「人形芝居は視聴覚部石川主事が演じるもので、人形だけの貸し出しはいたしません」とあり、彼の独壇場であった。視聴覚部が四季報に登場するのは、1961年6月号が最後である。視聴覚部は普及部の石川が兼任した部署と思われ、テレビの普及とともに聖書協会の視聴覚活動も下火になったようだ。

（日本聖書協会編集部 飯島克彦）

# ソア53号発行によせて



総主事 具志堅 聖

General Secretary  
Gushiken Kiyoshi

2024年10月7日から約6日間、カナダのトロントにおいて UBS Fellowship Event と題する会合が開催されました。200名を超える聖書協会代表者・スタッフや聖書事業関連団体担当者などが集いました。前年にUBS世界大会で採択された「エフモンド宣言」にある7つの課題についての活動報告がなされ、それを中心に全体会議が行われました。

また、コロナ禍で多くのプロジェクトが中断されていた「ISP（国際サポート・プログラム）」の再開と刷新の取り組みがなされ、個別の協議の時が持たれました。聖書事業プロジェクトのための支援の必要性は大きく、そのために資金をどのように拠出していかなど、真剣な議論が長時間行われました。これが2025年にさまざまな形で展開されていくことを期待しています。

さて、今回の会合のホストはカナダ聖書協会（Canadian Bible Society/略称CBS）でした。現在、CBSの総主事はUBS世界理事の一人でもあるダス・ルペン（Das Rupen）氏です。CBSは1904年に始まり、2024年で120年を迎えましたが、過去20年ほどは多くの問題を抱え、活動が低迷していました。長

い歴史を積み重ねる中でCBSは本来のミッションを見失うようになり、組織が硬直化し、時代の変化による外部環境への適応力が無くなっていった、と述べていました。ルペン氏は多くの反対に合いながらも、大幅なリストラを敢行し、本部事務所を売却・移転し、大幅な構造改革を行いました。そして、CBSをよりエキュメニカルな組織とし、教会・教派・教団との関係を刷新し、聖書協会の事業を復活させました。

ルペン氏はもともと宣教学の専門家です。過去には緊急支援も行うNGOであるワールド・ビジョンの責任者でもありました。彼は「組織は新しい革袋が必要になる時が必ずくる。その時、時代に即した刷新を行い、ミッションとチャレンジ精神を忘れず、前向きに取り組むことが大切だ」と、他の多くの聖書協会のリーダーを励ましました。その他にも、すでに世界的に起きている高齢化社会の課題などの意見交換も行うことができ、とても有益な時を持ちました。大きな励ましとなりました。

2025年、私ども日本聖書協会は聖書普及事業150年の記念の年を迎えます。団塊の世代の約800万人が後期高齢者となる「2025年問題」が起きています。日本聖書協会はこの時代の大きな流れにどう対応し、どのように刷新させていくことが必要なのか。日本の宣教や教会形成において、どのような役割が求められているのか。この一年、そのようなことを特に心に思い巡らせながら歩んでまいります。どうぞ皆さまのお祈りとご支援をお願いいたします。

## 編集後記

SOWER「150年記念号」をお届けできることを嬉しく思います。日本にみことばを届ける拠点を設置してから150年。人の齢を優に超える年月の重みを感じずにはられません。

制作にあたり、海外から取り寄せた19世紀の資料や過去の年報・機関誌を眺読しました。来日時、すでに70年近い歴史と経験を積んでいた三國聖書協会さえ、宗教・言語・文化の異なる日本での活動は苦難の連続で、翻訳の権利問題、印刷の効率化や価格設定をめぐる対立など、様々な試練があったことが記されています。しかし、それらを乗り越え、働き手たちが心を一つにして今日に至ったことを思うと胸が熱くなります。枝葉末節でなく、神様が示す究極の目標のみに共に目を向けて進んでいけば、大きな動きを継続できることを改めて教えられました。

1875年から今日まで、聖書の働きに尽力した先輩たちや支援者が多くいます。一人ひとりのお名前を挙げることはできませんが、「みことばを届ける！」という彼ら・彼女らの強い思いの上に今の日本聖書協会が成り立っていることを心に刻みます。

今、私たちの前には、雪のように真っ白なページが広がっています。これからそこにどんな物語を描いていくのか。主と共に、聖書協会の挑戦は続きます。（EB）

# わたしの聖書物語

## 神さまの大いなる計画

N・T・ライトによる  
子どもから大人まで  
楽しめる  
聖書物語

創世記からヨハネの黙示録まで、140のお話と絵でたどる、旧約聖書・新約聖書の世界

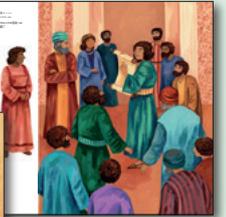
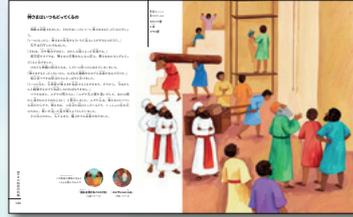
**N・T・ライト 著**

英国の著名な神学者N・T・ライトが贈る今までにない聖書物語。創世記からヨハネの黙示録までのそれぞれの小さな物語がひとつの大きな物語——すべてを正しい姿にもどし、天と地をひとつにするという神さまの大いなる計画——を織りなしています。

ヘレナ・ベレス・ガルシア 画

ハードカバー

わたしの聖書物語  
神さまの大いなる計画  
天地265×左右215mm  
296頁 厚さ24mm  
3,960(3,600+税)円  
ISBN978-4-8202-9288-3



NEW

### 黙想シリーズ 日々の黙想

## 366日で読む聖書

聖書  
聖書協会共同訳

NEW



ニーナ・スミット 著

聖書を初めて読む人にもっと聖書に親しみたい人にも聖書を全部読む自信がない人にも

創世記からヨハネの黙示録まで聖書の本文を選びすぐって掲載。1年間で聖書全体に目を通すことができます。

人気クリスチャン作家による短くシンプルなメッセージに聖書のエッセンスがぎゅっと詰まっています。

合成皮革装・スリーブ入り

日々の黙想 366日で読む聖書  
天地175×左右110mm 416頁  
2,640(2,400+税)円  
ISBN978-4-8202-9289-0



### 聖書協会共同訳 総ルビ付き × English Standard Version

## バイリンガルバイブル



NEW



ハードカバー・ジャケット掛け

①バイリンガルバイブル/  
和英対照新約聖書  
SIESV 253DI  
B6判 796頁  
文字の大きさ8.5ポイント  
厚さ約14.5mm  
2,970(2,700+税)円  
ISBN978-4-8202-1366-6

B6判  
中聖書

ビニールクロス装・ジャケット掛け

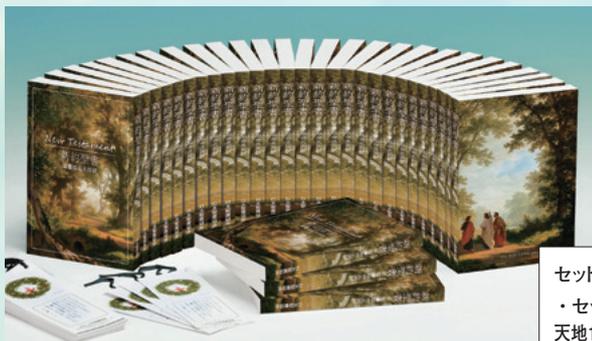
②バイリンガルバイブル/  
和英対照聖書  
SIESV 54DI  
B6判 3,266頁  
文字の大きさ8.5ポイント  
厚さ約58.5mm  
7,700(7,000+税)円  
ISBN978-4-8202-1365-9

聖書を和英対照で読み味わうことができます。日本語は、2018年12月発行のカトリック教会とプロテスタント諸教会の翻訳者による最新の共同訳『聖書 聖書協会共同訳』。英語は、ジェームズ王欽定訳の流れを汲み、現在アメリカで最も読まれている『英語標準訳』(English Standard Version)。

聖書  
聖書協会共同訳

普及版

NEW



聖書  
聖書協会共同訳

普及版

NEW

セット販売のみ(分売不可)  
・セットの箱の大きさ  
天地125×幅310×奥行236mm



約にかなう、新約聖書の学習に	
品名	価格
新約聖書	198
新約聖書(紙装)	208
新約聖書(紙装)	218
新約聖書(紙装)	228
新約聖書(紙装)	238
新約聖書(紙装)	248
新約聖書(紙装)	258
新約聖書(紙装)	268
新約聖書(紙装)	278
新約聖書(紙装)	288
新約聖書(紙装)	298
新約聖書(紙装)	308
新約聖書(紙装)	318
新約聖書(紙装)	328
新約聖書(紙装)	338
新約聖書(紙装)	348
新約聖書(紙装)	358
新約聖書(紙装)	368
新約聖書(紙装)	378
新約聖書(紙装)	388
新約聖書(紙装)	398
新約聖書(紙装)	408
新約聖書(紙装)	418
新約聖書(紙装)	428
新約聖書(紙装)	438
新約聖書(紙装)	448
新約聖書(紙装)	458
新約聖書(紙装)	468
新約聖書(紙装)	478
新約聖書(紙装)	488
新約聖書(紙装)	498
新約聖書(紙装)	508
新約聖書(紙装)	518
新約聖書(紙装)	528
新約聖書(紙装)	538
新約聖書(紙装)	548
新約聖書(紙装)	558
新約聖書(紙装)	568
新約聖書(紙装)	578
新約聖書(紙装)	588
新約聖書(紙装)	598
新約聖書(紙装)	608
新約聖書(紙装)	618
新約聖書(紙装)	628
新約聖書(紙装)	638
新約聖書(紙装)	648
新約聖書(紙装)	658
新約聖書(紙装)	668
新約聖書(紙装)	678
新約聖書(紙装)	688
新約聖書(紙装)	698
新約聖書(紙装)	708
新約聖書(紙装)	718
新約聖書(紙装)	728
新約聖書(紙装)	738
新約聖書(紙装)	748
新約聖書(紙装)	758
新約聖書(紙装)	768
新約聖書(紙装)	778
新約聖書(紙装)	788
新約聖書(紙装)	798
新約聖書(紙装)	808
新約聖書(紙装)	818
新約聖書(紙装)	828
新約聖書(紙装)	838
新約聖書(紙装)	848
新約聖書(紙装)	858
新約聖書(紙装)	868
新約聖書(紙装)	878
新約聖書(紙装)	888
新約聖書(紙装)	898
新約聖書(紙装)	908
新約聖書(紙装)	918
新約聖書(紙装)	928
新約聖書(紙装)	938
新約聖書(紙装)	948
新約聖書(紙装)	958
新約聖書(紙装)	968
新約聖書(紙装)	978
新約聖書(紙装)	988
新約聖書(紙装)	998
新約聖書(紙装)	1008



紙装・ジャケット掛け

小型新約聖書  
SI 240  
文字の大きさ7ポイント  
厚さ14mm  
A6判 480頁  
550(500+税)円  
ISBN978-4-8202-3254-4

文庫本スタイルの新約聖書。お求めやすい価格で、新約聖書を気軽に読みたい方にお勧めです。一般的な文庫本よりも薄く、丈夫で裏写りの少ない用紙を使用しています。  
表紙絵:「降誕」井上直

紙装

小型新約聖書レインボウセット  
SI 240-S  
文字の大きさ7ポイント 厚さ13mm  
A6判 480頁  
5,500(5,000+税)円  
ISBN978-4-8202-3255-1



新約聖書 30冊入り  
レインボウしおり 50枚付き  
聖書の読み方ガイド 30枚入り  
●しおりの裏面には、贈り主からのメッセージ用スペースつき  
表紙絵:「エマオへの道」ロベルト・ツント